

DK-34

特17
789

54
147

一
目
千
古

全

022381-000-3

特17-789

一目千古

倉淵 芳平 / 刊

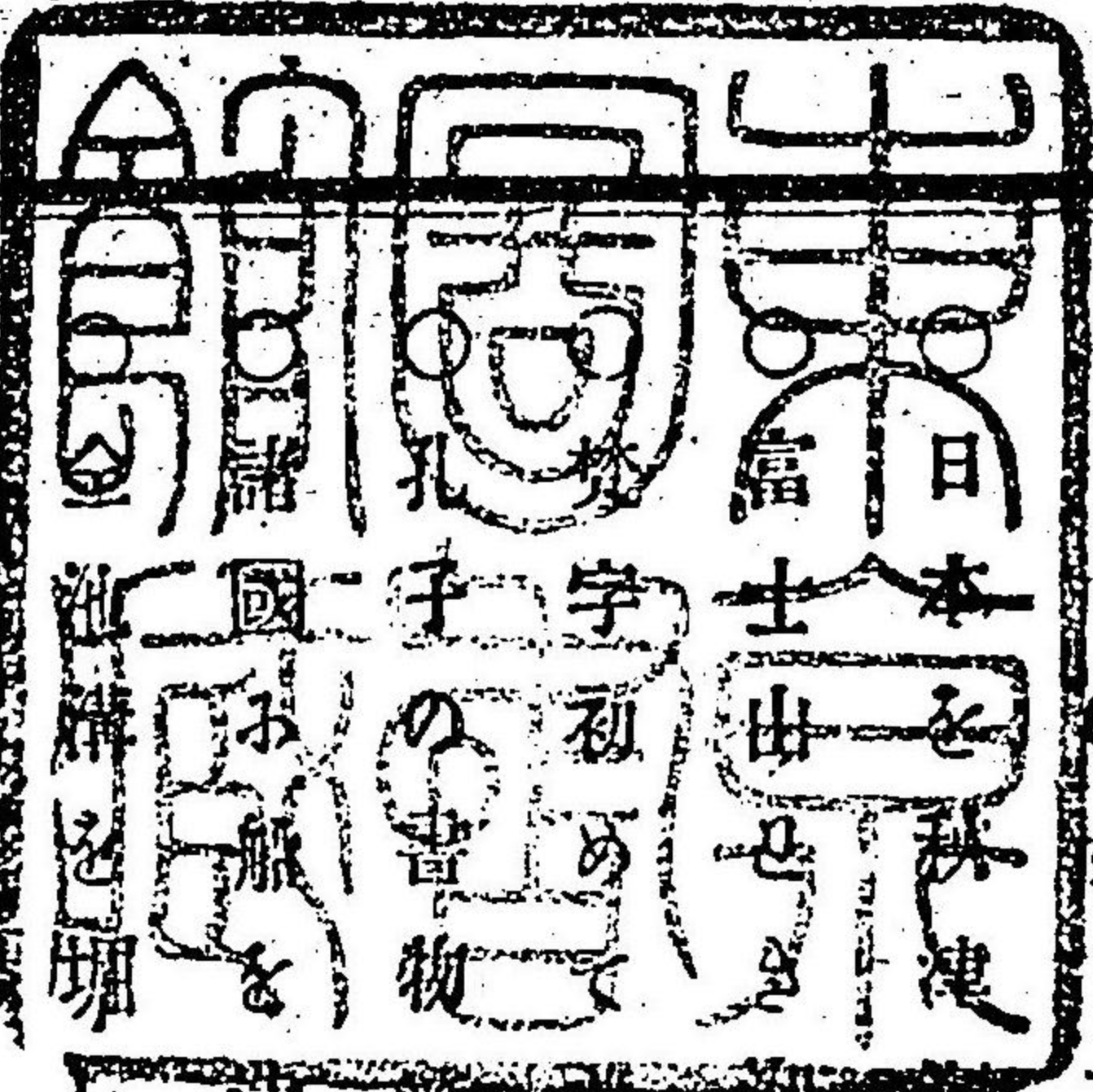
M24

ADB-0001



- 神武天皇即位紀元二千五百五十一年
- 今上皇帝第二百二十二代
- 武將賴朝ヨリ家喜マテ四十六代

● 始 事



- 日本を神武 神武三一 二千五百五十一年
- 富士山と云ふ 孝靈五 二千五百七十六年
- 湖水ある 全十三 二千五百六十八年
- 字初めて 全七二 二千五百九十年
- 孔子の書物 崇神十七 千九百七十一年
- 諸國の船を造しむ 全六二 千九百二十六年
- 相撲の始め 垂仁七 千九百三十三年
- 初めて漢へ使を遣す 全八六 千八百三十三年
- 竹生嶋湧出る 景行十 千八百二十一年



明治廿

- 大阪の堀江なる 仁徳十一 千五百六十八年
- 鷹狩の始め 全四三 千五百三十六年
- 大臣の始め 成務三 千七百七十八年
- 女帝の始め 神功 千六百九十一年
- 唐よど菊種渡る 仁徳七二 千五百七十七年
- 三月曲水宴の始め 顯宗二 千四百五十五年
- 五經博士渡る 繼体七 千三百七十八年
- 初めて佛像を造る 欽明六 千三百四十六年
- 和州大寺立 全十一 千三百四十一年
- 初めて僧侶渡る 全十五 千三百三十七年
- 寺佛の工匠渡る 敏達六 千三百十四年
- 商人姪子を祭る 推古五 千二百九十五年
- 僧尼の始め 全廿二 千二百七十八年

- 初めて僧都を置く 全三三 千二百六十八年
- 有馬に温泉湧出 舒明三 千二百六十年
- 年号の始め 孝徳元 千二百二十七年
- 鷄鷓鳥渡る 齊明二 千二百十五年
- 盆祭の始め 全三 千二百十四年
- 水時計を造る 全六 千二百十一年
- 越後より石炭出る 天智七 千二百三年
- 對馬より白銀出る 天武三 千二百九十七年
- 火葬に始め 全四 千二百九十六年
- 初めておしろいを造る 持統六 千二百七十九年
- 紋錦を織始む 和銅四 千二百六十五年
- 布一反を二丈六尺とす 全七 千二百六十二年
- 養老の漣湧出る 養老元 千二百五十八年

- 初めて天然痘流行 天平八 千二百三十五年
- 初めて鉄を鍛ふ 延暦十六 千二百七十三年
- 今の西京を都とす 全三 千二百八十七年
- 四方拜の始め 寛平元 千二百八十二年
- 七草粥の始め 全二 千二百八十一年
- 左近の櫻を植 康保元 千二百八十七年
- 右近の橘を植 全二 千二百八十六年
- 初めて鉄砲渡る 天文八 千二百五十二年
- 種子島鉄砲造る 全十二 千二百四十八年
- 黒船来る 正保四 千二百二十四年

●人事

- 神功皇后三韓征伐 仲哀九 千四百八十六年
- 吉備大臣飯朝 天平七 千四百四十一年

- 田村丸東征 延暦十 千八百十六年
- 空海高野山と開く 弘仁七 千五百十五年
- 菅公銳紫と流さる 延喜元 九百七十年
- 安倍時頼謀反 永承六 八百二十二年
- 將門の謀反 承平三 九百三十五年
- 空海を弘法とす 延喜廿一 九百五十年
- 那須野の狐狩 久壽二 七百十六年
- 爲朝伊豆へ流さる 保元二 七百十四年
- 頼朝伊豆へ流さる 永暦元 七百十一年
- 清盛常盤と妾とす 應保二 七百九年
- 富士の牧狩 建久五 六百七十七年
- 俊寛流さる 知承元 六百八十五年
- 蒙古對馬と冠す 龜山十一 六百廿一年

- 和田義盛實朝の合戦 建保元 六百五十八年
- 日蓮伊豆へ流さる 弘長元 六百一十年
- 正盛義兵を擧ぐ 元弘元 五百四十年
- 義元信長桶狭間の戦 永祿三 三百六十六年
- 川中嶋の戦 全 四 三百五十五年
- 元就尼子を亡す 全 六 三百三十二年
- 勝頼家康長篠の戦 天正三 二百九十六年
- 家康秀吉長久手の戦 全 十二 二百八十七年
- 秀吉朝鮮征伐 全 十九 二百八十年
- 光秀信長を殺す 全 十 二百八十九年
- 大阪落城 元和元 二百五十六年
- 島原切支丹の一揆 寛永十四 二百三十四年
- 正雪忠彌の謀反 慶安四 二百二十年

- 大名の更代始る 寛永十二 二百三十六年
- 義士の夜討 元祿十五 百六十九年
- 奥羽の戦争 明治元 廿四年
- 西郷騒動 全 十 十四年
- 建造
- 熊野の本宮 崇神十六 千九百七十二年
- 天照太神を伊勢へ遷す 垂仁二 千九百十八年
- 全外宮 雄略廿二 千四百十三年
- 尾張熱田の神体 應仁廿八 千五百百年
- 大和の向原寺 欽明十三 千三百三十九年
- 信濃の善光寺 全 全 年
- 吉野寺の放光佛 全 十四 千三百三十八年
- 攝津の四天王寺 用明二 千三百四十四年

- 南都の元興寺 崇神二 千九百八十六年
- 大和の遠麿寺 推古廿二 千二百七十七年
- 東京の浅草寺 全 三十 千二百六十八年
- 宇治橋 孝徳二 千二百二十五年
- 大和の岡寺 天智二 千二百八十八年
- 近江の志賀寺 全 七 千二百二十二年
- 京の誓願寺 全 四 千二百六十六年
- 南都の興福寺 和銅三 千四百四十一年
- 出雲比大社 齊明五 千二百二十二年
- 京の八坂の塔 白鳳七 千八百八十八年
- 比叡山 延暦七 千八百八十三年
- 京の東寺 全 十三 千七百十八年
- 清水の本堂 全 十七 千七百八十三年

○京の愛宕山を開く	全元	千八十九年
○箱根山道を開く	全廿	千六十九年
○南都の南圓堂	弘仁四	千五十八年
○三島の明神	天平五	千百卅八年
○日光山を開く	神護元	千百四年
○木曾山道を開く	大寶二	千百七十五年
○南都の大佛	天平十六	千百二十九年
○粉川寺	寶龜元	千百一年
○宇佐八幡と男山と遷す	貞觀元	千十二年
○京の祇園社	全十一	千二年
○鶴岡の八幡	康平六	八百九年
○三十三間堂	長承元	七百卅九年
○知恩院	建略元	六百廿九年

○建仁寺	建仁二	六百七十年
○東福寺	寛元元	六百廿九年
○南禪寺	永仁元	五百七十九年
○金閣寺	應永四	四百七十四年
○銀閣寺	文明十一	三百九十三年
○東京の増上寺	慶長十	二百六十六年
○江戸城	全十一	二百六十五年
○上野の聖堂	寛永十	二百卅九年
○京の大佛の鐘	慶長十八	二百五十八年
○東京の回向院	明暦三	二百十六年
○全阿國橋	萬治二	二百十三年

●名家

●名僧

○鎌足公 千四百七十三年 ○釋迦入滅 二千九百四十四年

○柿本人丸	千九百四十七年	○遠磨大師	千三百四十七年
○吉備大臣	千九百六年	○望德太子	千三百五十年
○中將姬	全	○役行者	千七百七十年
○小野小町	千卅六年	○行基菩薩	九百廿五年
○在原業平	九百九十一年	○弘法大師	千七十四年
○菅公	九百六十八年	○惠心僧都	八百五十四年
○紫式部	七百八十一年	○空也上人	八百九十九年
○西行法師	六百七十三年	○熊谷連生	六百七十一年
○賴朝	全	○親鸞上人	六百十七年
○楠正成	五百卅五年	○日蓮上人	五百九十六年
○家康	二百八十二年	○一休和尙	三百九十一年

兵庫縣神戸市坂本村番外百三番屋敷

發行者

倉淵芳平

明治廿四年五月廿二日印刷

全 年六月九日出版

全縣全市全村番外百四番屋敷

印刷者

林碧

〔定價金三錢五厘〕